

TOPICS 01

8月18日 こどもの未来を考える

市民と市長との対話集会

今年度1回目となる対話集会は「こども達の未来にとって望ましい教育環境とは何か」を、小・中学生を育てる保護者や現役大学生など幅広い年代の人とともに考えました。

はじめに、自身が学生だった頃の思い出や経験を参加者同士で共有し、現在の学校生活との比較

や変化について意見交換を行いました。

その後、少子化問題に着目し、これから舞鶴市が目指すべき教育環境の理想像とは何かを模索しました。

【市長から】

子ども達の未来を考えることは、新しい社会を築くための重要なテーマです。過去にとらわれず、家庭や学校、地域社会が一体となって知恵を絞り、子どもの健やかな成長を支える環境づくりに取り組んでいます。



TOPICS 02

9月3日 飛揚-hiyoh- ～再会の似合うまち舞鶴～

飛揚チャリティーコンサートの開催

大浦地域室牛地区で、アーティストの皆さんが米作りを行っているご縁から、チャリティーコンサートが開催されました。

宗本康兵さんと南野陽子さんが舞鶴をイメージして制作し、防災行政無線から流れている「飛揚」などを歌唱され、最後に売り上げの一部を寄付金として贈呈いただきました。今後の市の文化振興に使わせていただきます。



TOPICS 04

9月7日 23年ぶりに書記が訪問

友好都市・大連市(中国)の代表団が来訪

今年度に入り、5月に舞鶴市代表団が大連市を訪問し、7月には大連市少年使節団が舞鶴市を訪問するなど、両市の交流事業が本格的に再開しています。今回、中国共産党大連市委員会書記をはじめとした大連市代表団13

人が舞鶴市を訪問しました。書記の訪問は23年ぶりとなります。

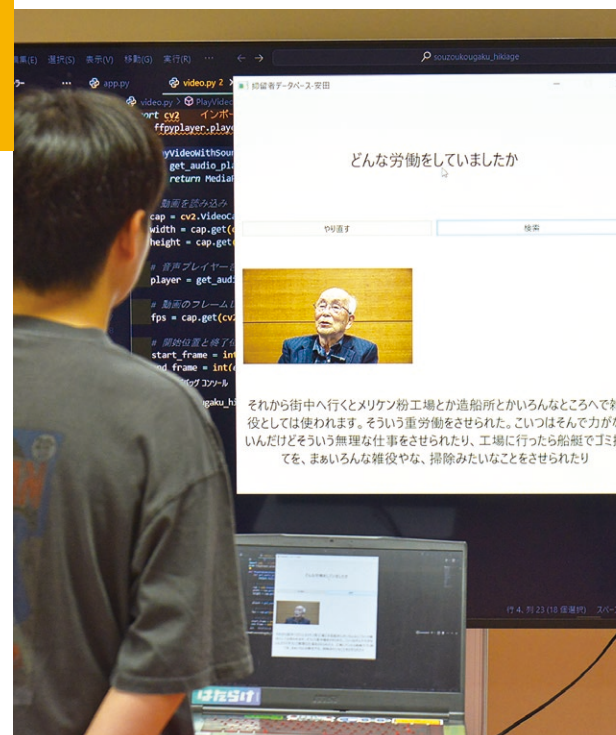
熊茂平書記との会談では青少年交流をはじめとする人的交流や京都舞鶴港を活用した経済交流の拡大に向け、意見交換を行いました。

TOPICS 03

8月21日 部活の今後を考える

部活動の地域移行・連携のための説明・意見交換会

現在、中学校で休日に行う部活動の地域移行を進めています。これまでの取り組みの状況やアンケート結果をもとに、舞鶴市の目指す姿を地域の指導者や顧問教員へ向け、説明しました。また、競技や活動ごとの意見交換も行いました。



10月12日は恒久平和を願う

◆平和祈念式典

【時間】14時から

【内容】華道・茶道連盟の献花・献茶や小・中学生による平和へのメッセージなど

◆食の体験イベント

【時間】13時から(抹茶のふるまいは13時30分から)

【内容】当時の食(コーリャンがゆ、ふかし芋など)や抹茶のふるまい

【その他】なくなり次第終了

《共通》【場所】引揚記念公園

次世代からの継承

引き揚げの歴史が風化しないように、史実を語り継ぐ活動を続けている人たちがいます。その中には、館内に収蔵している資料を説明する学生たちの「次世代語り部」が活躍しています。

平和祈念式典が行われる10月12日(土)も館内で語り部活動を実施します。

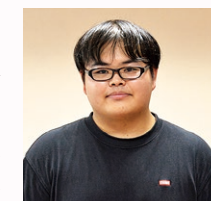
若い力、新たな技術

舞鶴高専生が引き揚げ体験者の証言動画を活用し、実際に質問すると体験者が字幕付きで受け答えるプログラムを開発しました。

この技術を10月12日の平和祈念式典終了後に館内で実践披露します。

【制作した学生にインタビュー】

語り部として、代々語り継いでいくことも大切ですが、当時を経験された人の「生の声」を会話形式にして生きた言葉として残したいと思い、制作しました。小・中学校の平和学習などで使用し、理解を深めてほしいです。



電気情報工学科
4年 芦田 准一朗さん



舞鶴の歴史を次世代が担う 「人」×「技術」で伝承

10月7日は「引き揚げの日」。引き揚げやシベリア抑留の史実と引き揚げ者を温かく迎え入れたまちの歴史を次世代に継承し、平和への願いを未来へ伝えるため、次世代からの「言葉」そして、若者による「技術」で未来へつないでいきます。

《引揚記念館》